

2019年度 定例学部大会

日時： 2019年7月9日（火）

17:40 開場

18:15 開会

場所：500人講義室

議事：(1)開会宣言

(2)議長団承認

(3)本大会のシステムの説明

(4)2018年度情報工学部学生自治会活動報告

(5)議案提出

1. 2018年度情報工学部学生自治会決算

2. 2019年度情報工学部学生自治会予算案及び活動方針案

(6)採決

(7)閉会宣言

目次

・ 本大会のシステムの説明	・ ・ ・ ・ ・ 3
・ 2018 年度情報工学部学生自治会活動報告	・ ・ ・ ・ ・ 4～42
執行委員会	
代議員会	
選挙管理委員会	
会計監査委員会	
卒業アルバム製作委員会	
議案 1	
・ 2018 年度情報工学部学生自治会決算	・ ・ ・ ・ ・ 43、44
・ 2018 年度情報工学部学生自治会予算(参考資料)	・ ・ ・ ・ ・ 45、46
・ 2018 年度情報工学部学生自治会予算計上理由(参考資料)	・ ・ ・ ・ ・ 47、48
議案 2	
・ 2019 年度情報工学部学生自治会活動方針案	・ ・ ・ ・ ・ 49～54
執行委員会	
代議員会	
選挙管理委員会	
会計監査委員会	
卒業アルバム製作委員会	
・ 2019 年度情報工学部学生自治会予算案	・ ・ ・ ・ ・ 55、56
・ 2019 年度情報工学部学生自治会予算計上理由	・ ・ ・ ・ ・ 57、58

学部大会のシステムの説明

定足数について

情報工学部学生自治会規約第 16 条により、

(1)本大会参加者が、本会員総数の 5 分の 1 以上であること。

(2)本大会の出席者が、定足数の 10 分の 9 以上であること。

となっております。出席者数は受付名簿上でチェックを受けた学部生の数とし、参加者数は委任状提出者数と出席者数の合計数とします。

採決について

今学部大会では採決を投票により行います。投票用紙の各議案の承認・否認・保留のいずれかの欄に○をつけてください。○のないものや、○以外のものが書かれているもの、複数個の欄に○があるものは正しく記入されている議案を含め、その投票用紙を棄権とみなします。また途中退出者は、退出時に受付にて投票してください。なお、開票作業は選挙管理委員会に依頼し、投票の結果は 7 日以内に公示致します。

議場閉鎖について

採決開始から終了まで議場閉鎖を行います。その間の入退場は認めません。トイレなどの用事のある方は議場閉鎖前に済ませてください。

質疑応答の時間について

議事進行を円滑にするため、質疑応答の時間は議長権限によって途中で終了する場合があります。あらかじめ御了承下さい。また、議案にそぐわない質疑・意見であると議長団が判断した場合は質疑を受け付けません。質疑・意見を発言できなかった方は、アンケート用紙に記入して下さい。2 週間以内に立て看板等にて回答致します。

発言について

広い議場ですので、挙手の際は議案書を持って、しっかりと挙手をお願いします。発言の権利があるのは、議長が指名してマイクを渡された方です。強制ではありませんが、責任をもって発言していただく為に、出来るだけ学科・氏名を述べるようにしてください。

2018 年度情報工学部学生自治会活動報告

文責：中野 貴仁

(執)は執行委員会、(卒)は卒業アルバム製作委員会、(選)は選挙管理委員会、
(会)は会計監査委員会の活動を表します。

- 2018 年
- 4 月 クラスオリエンテーション (執)
入学式誘導 (執)
 - 5 月 福北学生献血どんたく隊活動参加 (執)
二瀬中学校体育会参加 (執)
会計監査開始 (会)
会計監査終了 (会)
 - 6 月 二瀬中学校学習会参加 (執)
春季学内献血 (執)
福北合同献血合宿参加 (執)
 - 7 月 寺子屋二瀬交流センター参加 (執)
飯塚山笠参加 (執)
オープンキャンパス (執)
学部大会における投票の監査、開票結果の公示 (選)
業者との打ち合わせ (卒)
 - 8 月 FUKUOKA 未来博参加 (執)
福岡学生献血サマーキャンペーン参加 (執)
下山田小学校学習会参加 (執)
放課後児童クラブ支援補助参加 (執)
飯塚片島交流センター学習支援参加 (執)
伊岐須小学校学習会参加 (執)
二瀬中学校学習会参加 (執)
2017 年度卒業アルバムのレイアウト構成 (卒)
 - 9 月 二瀬病院敬老会参加 (執)
幸袋中学校朝学参加 (執)
 - 10 月 遠賀川清掃活動参加 (執)
秋季学内献血 (執)

- オフィスキャンペーン (執)
- 11月 二瀬交流センター祭り参加 (執)
工大祭の撮影 (卒)
- 12月 飯塚小学校学習支援参加 (執)
片島小学校冬季学習支援参加 (執)
二瀬中学校クリスマス学習会参加 (執)
全国学生クリスマス献血キャンペーン参加 (執)
学内クリスマスイルミネーション (執)
- 2019年 1月 はたちの献血活動参加 (執)
冬季学内献血 (執)
研究室内で撮影された写真データの回収 (卒)
2018年度卒業アルバム購入希望の用紙の配布(回収は各自連絡にて) (卒)
各研究室の集合写真の撮影 (卒)
学生自治会正副会長選挙立候補者受付 (選)
立候補者の選挙活動期間 (選)
投票の監査 (選)
- 2月 学部長懇談会参加 (執)
開票結果の公示 (選)
- 3月 献血福岡合宿参加 (執)
副学長対談参加 (執)
卒業式・謝恩会の撮影 (卒)
2017年度卒業アルバム納品 (卒)
- 4月 新入生歓迎会 (執)
入学式の撮影 (卒)

2018年度執行委員会活動報告書

文責：執行委員会 中野 貴仁

<目的>

本委員会の活動を通して、本学学生がより充実した大学生活を送れるよう貢献する。また、学外のボランティア活動に積極的に参加することで、地域の方々に九州工業大学情報工学部を知ってもらい、地域に根付いた大学作りを目指す。

<活動内容>

主な活動は以下の通りである。

- 2018年 4月 クラスオリエンテーション
入学式誘導
- 5月 福北学生献血どんたく隊活動参加
二瀬中学校体育会参加
- 6月 二瀬中学校学習会参加
春季学内献血
福北合同献血合宿参加
- 7月 寺子屋二瀬交流センター参加
飯塚山笠参加
オープンキャンパス
- 8月 FUKUOKA 未来博参加
福岡学生献血サマーキャンペーン参加
下山田小学校学習会参加
放課後児童クラブ支援補助参加
飯塚片島交流センター学習支援参加
伊岐須小学校学習会参加
二瀬中学校学習会参加
- 9月 二瀬病院敬老会参加
幸袋中学校朝学参加
- 10月 遠賀川清掃活動参加
秋季学内献血
オフィスキャンペーン
- 11月 二瀬交流センター祭り参加

- 12月 飯塚小学校学習支援参加
片島小学校冬季学習支援参加
二瀬中学校クリスマス学習会参加
全国学生クリスマス献血キャンペーン参加
学内クリスマスイルミネーション
- 2019年 1月 はたちの献血活動参加
冬季学内献血
- 2月 学部長懇談会参加
- 3月 献血福岡合宿参加
副学長対談参加
- 4月 新入生歓迎会

<結果>

本委員会の各企画・活動に関しては、前年度の反省点を踏まえて改善していくことで、より良い企画を作り上げることができ、当初の目的通り大学生活をより充実させたものにできた。

地域の活動に関しては、前年度に引き続き飯塚市内の小・中学校への学習支援や交流活動に数多く参加した。地域からの信頼を受けて依頼を頂き、地域に根付いた大学づくりができた。

2018 年度春季学内献血活動報告書

文責：執行委員会 本多 万明

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会

<目的>

現在、日本全国で献血者数が激減している。そこで学内での献血活動を行うことで学生に献血活動を身近に感じてもらい、また、献血についての知識を増やしてもらうことで若年層の献血者数を増加させるため。

<活動内容>

前日まで： ビラ配り、ポスター掲示、食堂に卓上ポップを設置、SNS による呼びかけ、
研究室での呼び込み

当日： SNS による呼びかけ、アンケート、呼び込み

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス 福利施設 1 階ロビー、福利施設通路周辺、
研究棟及び総合研究棟

<活動日程>

2018 年 6 月 7 日(木), 8 日(金)	10:30~17:30	事前告知
11 日(月), 12 日(火)	9:00~17:30	学内献血実施
13 日(水)	10:30~17:30	事前告知
14 日(木)	9:00~17:30	学内献血実施
20 日(水)	13:30~16:00	学内献血実施

<対象>

九州工業大学飯塚キャンパス 学部生、大学院生、教職員、その他来訪者

<結果>

受付者数	203名
献血者数	175名
不採血	28名

2018年度オープンキャンパス活動報告書

文責：執行委員会 原田 隼弥

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会

<目的>

九州工業大学情報工学部オープンキャンパスの学生企画参加者に、企画を通して本学の情報に触れてもらうことにより、本学への興味を促し進路決定に役立ててもらおう。

<活動内容>

・ キャンパスツアー

スタッフが参加者とキャンパス内にある施設を回りながら各施設の説明を行った。各施設間の移動時間中は参加者と会話をすることで参加者を楽しませるとともに質問に応じた。待機中のスタッフは呼び込みを行った。

・ 相談所

ブースにて参加者の受験や学校生活に関する相談に回答した。また、相談を通して本学の魅力を伝えた。相談を受けていないスタッフは呼び込みを行った。

・ 誘導

オープンキャンパス来場者を九州工業大学飯塚キャンパスのオープンキャンパス会場に誘導することで、オープンキャンパスの開始をスムーズにした。

・ オブジェ

来場者歓迎のためドットを用いたオブジェを作成し、空中廊下下に設置した。

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス

<活動日程>

2018年7月14日(土)、15日(日) 10:20~17:00

<参加人数>

参加者	延べ 407 名
スタッフ	52 名
合計	延べ 459 名

<使用物品>

長机	10 台
パイプ椅子	30 脚

<結果>

両日ともに参加者数はまずまずであり、おおよそ例年通りの参加者数であった。今年度は企画に関するアンケートを実施していないが、スタッフの対応が良かったとの声を多くいただいたので、本企画は成功したと言える。

<考察>

ツアー中のキャンパスツアー企画参加者に、他のイベントの勧誘が行われてしまうといったトラブルが起きた。これは、キャンパスツアー企画参加者に、他の来場者と区別できるものを身に付けさせることで改善できると考える。

また、キャンパスツアー企画後、参加者が一斉に相談所企画に押しかけてしまい、相談所の人手が足りない時間帯があった。来年度からは、企画間での連携を強固にすることで、柔軟な対応を行っていききたい。

来年度は講義棟の改装がオープンキャンパス実施日に重なるので、講義棟の改装を考慮しながら各企画に使用する施設を検討していききたい。

2018 年度オープンキャンパス・キャンパスツアー活動報告書

文責：執行委員会 山崎 春菜

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会

<目的>

本学学生が、参加者に飯塚キャンパスの各施設の紹介や大学生活の話をする事で、参加者に飯塚キャンパスや大学生活の魅力を知ってもらおう。そして、本学学生と参加者との交流の機会を持ってもらい、飯塚キャンパスにより興味を持ってもらおう。

<活動内容>

キャンパスツアー参加者を空中廊下下の本部にて募集し、スタッフがキャンパス内を案内した。一度に集まった参加者が5～7名程度だった場合は2名のスタッフで、2～3名だった場合は1名のスタッフで案内した。

案内したコースは以下の3コースである。

- ・A コース 受付(空中廊下下)→図書館→飯塚サイエンスギャラリー→講義棟 2F→需要創発工房→福利施設→AV 講義室→オアシス前廊下で終了
- ・B コース 受付(空中廊下下)→AV 講義室→マイクロ化総合技術センター→キャリアセンター→講義棟 2F→飯塚サイエンスギャラリー→オアシス前廊下で終了
- ・C コース 受付(空中廊下下)→研究棟→デザイン工房→グローバルコミュニケーションラウンジ→講義棟 2F→図書館→事務部前掲示板→オアシス前廊下で終了

どのコースにするかは受付時に参加者に決めてもらった。参加者がコースの選択を決めかねている場合は、こちらで人数の配分を考えながら決定した。

各施設に到着すると、その施設のスタッフまたはキャンパスツアースタッフがその場所について参加者に説明を行い、質問などを受け付けた。1つのコースを30～40分かけて案内した。

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス 空中廊下下、附属図書館分館、2201 講義室前、福利施設、グローバルコミュニケーションラウンジ、キャリアセンター、AV 講義室、

研究棟管理棟内掲示板、研究棟、マイクロ化総合技術センター、需要創発工房、デザイン工房、飯塚サイエンスギャラリー、オアシス前廊下

<活動日程>

2018年7月14日(土)、15日(日) 10:00～16:00

<参加人数>

キャンパスツアー参加者	1日目	180名
	2日目	247名
ツアー参加者合計		427名
キャンパスツアースタッフ		23名
合計		450名

<結果>

結果として、昨年度のキャンパスツアー参加者 359 名よりも 68 名増加した。昨年度比としては約 1.2 倍である。ツアー終了後に口頭アンケートを行った結果、約 8 割の人が「面白かった」、「楽しかった」と回答していた。

また、当日以前のリハーサルを昨年度 4 回行ったのに対し、今年度は 6 回行った。リハーサルの回数を増やしたこともあったせいか、1 年生のスタッフのみでもツアーを滞りなく周ることができた。さらに、ツアー時間についても、30～40 分という決められた時間を大幅に前後するグループもなくツアーを進行することができた。

<考察>

企画自体は概ね予定通り進行することができ、ツアー中の参加者の反応も良く成功したものと思われる。昨年度に引き続き、需要創発工房、デザイン工房では 3D プリンタなどの装置の見学ができ、参加者の興味を引けた。また、今年度は昨年度とは違い、マイクロ化総合技術センターで体験イベントなども行っていたため、今回のツアーの目玉になったと思う。

昨年度の反省点を生かして、各施設のスタッフとの打ち合わせの段階で説明する時間について入念に話し合っていたことが良かった点である。

一方、反省としてはツアー中に体調の悪くなるスタッフもいたのでツアーの配分、コースの長さ、一人一人のスタッフの負担を見直すべきだと考える。また、来年は講義棟の工事などで使えない場所も出てくるのでそれを考慮してコースも考えていく必要がある。

2018 年度オープンキャンパス相談所活動報告書

文責：執行委員会 石破 和弥

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会

<目的>

オープンキャンパス参加者に、本学の魅力を知ってもらうことにより、本学への関心を高め進路決定に役立ててもらふこと。加えて参加者の質問や相談に対応すること。

<活動内容>

参加者には、本学の魅力や、本学学生のライフスタイル、学習内容を自身の経験談を交えて伝えた。また、参加者からの相談や質問があれば対応した。

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス 学生談話室「オアシス」

<活動日程>

2018 年 7 月 14 日(土)、15 日(日) 9:00～17:00

<参加人数>

スタッフ	24 名
参加者一日目	81 名
参加者二日目	延べ 65 名
参加者合計	延べ 146 名
合計	延べ 170 名

<使用物品>

机	12 台
椅子	22 脚

<結果>

オープンキャンパスで実施されたアンケートの自由記述欄に「相談所に行ってよかった」

という記述が複数あり、また両日参加してくれた人もいることから相談所が参加者にとって有意義なものだったということが確認できた。加えて参加者とスタッフが楽しそうに会話しているのを確認できたことから、本企画は成功したといえる。

<考察>

来年度のオープンキャンパスでは講義棟の工事に伴い、今年度までこの企画で使用していたオアシスが使えなくなるということだが、この企画は大学進学を目指す学生が大学生の生の声を聴くことができるという点において継続する価値のある企画であるから、来年度も開催したいと考える。加えて、より多くの参加者を収容可能にするために、開催場所を講義室に変更したいとも考える。講義室を使用することにより今年度はできなかった学科ブースの配置が期待される。

また、来年度は今の一年生が学科振り分けの経験者となり、学科についてより詳しい話ができるので進路決定の一助となると考えられる。

2018年度オープンキャンパス誘導報告書

文責：執行委員会 前山 凌

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会

<目的>

オープンキャンパス参加者を九州工業大学飯塚キャンパスに誘導することで、オープンキャンパスの開始までの動きをスムーズにし、本学について少しでも多く知ってもらう手助けをする。

<活動内容>

- ・学外には、JR 新飯塚駅、飯塚バスターミナルに誘導員を配置し、参加者を飯塚キャンパスまで誘導した
- ・学内には、正面階段下、正面坂下、駐車場、空中廊下下、500 人講義室前、駐輪場に誘導員を配置し、参加者を 500 人講義室と 2201 講義室まで誘導した
- ・自家用車の場合は学務前駐車場に誘導し、タクシーの場合は大駐車場に駐車し参加者を降ろしてもらうように誘導した
- ・学外、正面階段下では、プラカードを使って誘導した

- ・参加者に帰りのバスの運行時間とバス乗車場を伝えた

<活動場所>

○九州工業大学飯塚キャンパス外

- ・JR 新飯塚駅
- ・飯塚バスターミナル

○九州工業大学飯塚キャンパス内

- ・正面階段下
- ・正面坂下
- ・駐車場
- ・空中廊下
- ・500人講義室前
- ・駐輪場

<活動日程>

2018年7月14日(土)、15日(日) 7:30～10:30

<参加人数>

誘導員 29名

<結果>

九工大飯塚キャンパス入口バス停は、近年ほとんど参加者が来なかったため今年度は誘導員を配置しなかった。一昨年度バスを利用した参加団体が駐輪場に間違えてバスを止めようとしていた団体がいたので、昨年度に引き続き今年度もどのような団体にも対応を行った。オープンキャンパスで実施したアンケートの回答に「キャンパスツアーや相談所などに回れてよかった」とあり、誘導によってスムーズに移動を行えたために多く回れたと考えられる。よって、本学について知ってもらう手助けをするという目的は達成できた。

<考察>

JR 新飯塚駅と正面坂下で使うプラカードの枚数を増やしてより円滑に誘導を行えるようにしたい。昼の時間帯も正面階段下は車が混んでいたため、誘導員を配置しておく必要がある。キャンパスツアーや相談所の打ち合わせがあるため、誘導を終える時間はもっと早めにする。雨天時の対策として誘導員への傘の用意及び、熱中症への対策として学内誘導はパイプ椅子や水分の用意をする。

2018 年度オープンキャンパスオブジェ活動報告書

文責：執行委員会 田代 健一

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会

<目的>

オープンキャンパス参加者へ歓迎の気持ちを表すと同時に、雰囲気盛り上げるため。

<活動内容>

以下の通りのオブジェを作成し、オープンキャンパスにて展示した。

題材	キャラクターと文字「WELCOME TO KIT」
材料	立て看板 2 枚、模造紙、油性ペン
本体の寸法	高さ 180cm × 幅 90cm × 厚さ 5cm
作成方法	立て看板に模造紙を貼り付け、模造紙に油性ペンでドットを描き「WELCOME TO KIT」とキャラクターを表現した。

安全への配慮として、作成したオブジェが風で飛ばされないように空中廊下の柱とオブジェをビニールひもで固定した。また、参加者がオブジェに触れないように注意喚起をした。

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス 空中廊下

<活動日程>

2018 年 7 月 1 日(日)～13 日(金) オブジェ作成期間

14 日(土)、15 日(日) 展示期間

<参加人数>

スタッフ 40 名

<使用物品>

立て看板 2 枚

<予算の用途>

模造紙 449 円

<結果>

材料費が模造紙のみとなったため、昨年度に比べ予算を抑えることができた。

また、参加者がオブジェを見て、楽しそうに話していたので、この企画の目的を果たすことができた。

<考察>

オブジェの作成がオープンキャンパスの前日にまで及んだため、来年度は計画的に取り組みたい。

また、自動車で来た参加者にはオブジェが見えづらいのではないかというスタッフからの意見があったため、展示場所を分けたりするなど工夫をしたい。

2018 年度秋季学内献血活動報告書

文責：執行委員会 本多 万明

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会

<目的>

現在、日本全国で献血者数が激減している。そこで学内での献血活動を行うことで学生に献血活動を身近に感じてもらい、また、献血についての知識を増やしてもらうことで若年層の献血者数を増加させるため。

<活動内容>

前日まで： ビラ配り、ポスター掲示、食堂に卓上ポップを設置、研究室での呼び込み

当日： アンケート、呼び込み

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス 福利施設 1 階ロビー、福利施設通路周辺、
研究棟及び総合研究棟

<活動日程>

2018年 9月 27日(木), 28日(金)	12:00~13:00	事前告知
10月 1日(月), 2日(火)	9:00~17:30	学内献血実施

<対象>

九州工業大学飯塚キャンパス 学部生、大学院生、教職員、その他来訪者

<結果>

受付者数	89名
献血者数	84名
不採血	5名

2018年度オフィスキャンペーン活動報告書

文責：執行委員会 山口 昂大

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会
九州工業大学情報工学部生協学生委員会
上記2団体で構成されるオフィスキャンペーン実行委員会

<目的>

学部1~3年生に研究室での研究内容と現在の講義内容との繋がりを知ってもらうことで、将来への目的を持って日々の学習に取り組めるようになってもらう。特に学部3年生には研究室についての情報を提供することで、研究室選択の参考にってもらう。

<活動内容>

オフィスキャンペーンの一環として、以下の2つの企画を実施した。

○Get Your Dreams 2018

学生が研究室について知るきっかけになるような冊子「Get Your Dreams 2018」を作成し、提供した。作成にあたって、9月中に研究室の教員、所属する学生にメールで依頼し、研究室に関する情報を収集した。また、正確な情報を学生に提供するため、冊子作成

前に取材に協力していただいた教員に校正を依頼した。

●記事内容

- ・研究室の配属方法
- ・研究室に関連する科目
- ・オフィスデーで行ける研究室一覧
- ・研究室の特徴
- ・教員の研究室が求める学生像
- ・研究室の雰囲気(研究室に所属する学生から)
- ・企業とのつながりや就職先
- ・研究室に所属する学生の生活の例
- ・研究、研究室とは
- ・各研究室のオフィスアワーの一覧
- ・研究室の部屋番号
- ・研究内容
- ・研究室の写真
- ・研究棟見取り図

●配布場所

- ・福利施設
- ・研究棟
- ・図書館

○オフィスデー

- ・期間中に研究室を開放していただき、参加者に研究室を見学してもらった

教員に、研究室開放中は参加者に研究や参加者が知りたいことについて話をしていた。ただし、教員が授業や出張等で研究室に在室できない場合には、研究室内の誰かに参加者が来たときの対応を行うよう指示していただいた。

研究室の学生にも、見学に来た参加者に対して自身の研究等の話や、参加者が知りたかったことや、研究との関連の深い科目について積極的に話をしていただいた。

参加者に参加証を身に付けてもらい、終了時に回収した。

期間中に研究室を開放できない時間帯を知らせる張り紙を貼っていただいた。また、研究室開放中は開放中という張り紙を貼っていただいた。

- ・ 学生に対し広報を行い、研究室見学を推奨した
立て看板、ポスター、ビラ配り(3年生のみ授業前の配布を行う)で広報活動を行い学生に研究室見学を呼びかけた。
- ・ 企画当日に企画本部を設置し、研究室開放をサポートした
研究棟 1階に企画本部を設置し、参加者の受付やアンケートの配布、回収を行った。
また、参加者に冊子(Get Your Dreams 2018)を配布した。
- ・ 参加者に対してアンケートを実施した

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス 研究棟、福利施設、図書館

<活動日程>

2018年 9月 中旬～ 「Get Your Dreams 2018」作成
10月 9日(火)～16日(火) 「Get Your Dreams 2018」配布
10月 10日(水)～16日(火) 12:30～17:50 オフィスデイ(研究室開放)

<参加人数>

スタッフ 50名
オフィスデイ参加者 延べ383名
合計 延べ433名

<結果>

アンケート項目	Yes	No
訪問した研究室がどのような研究をしているか知ることができましたか？	314	16
冊子 (Get Your Dreams 2018)、または研究室見学により、今の学習が各研究室でどのように必要になるかが分かりましたか？	314	16
冊子または研究室見学によって研究室の就職先について分かりましたか？	280	50
自分が興味を持てる研究室を見つけられましたか？	300	30
講義に対するモチベーションは上がりましたか？	283	47

アンケートより、多くの参加者に研究室がどのような研究をしているのか知ってもらうことができたといえる。

また、今年度から執行委員会の輪転機が変わったことにより、冊子作成には少ない人数で早く行うことができ、オフィスデイの期間中でも冊子が途中で無くなることなく、スムーズに補充することができた。

<考察>

今年度のオフィスキャンペーンは、1年生の学科改正により、旧学科と新学科の双方の対応をしなければならなかった。1年生には、新学科対応表を配布し、旧学科の現状を見学してもらったが、来年度からは新学科が始まってしまうため、冊子の作成やスケジュールの調整を早めに決めておく必要がある。参加者は例年通りで400名弱となったが、来年度より新学科に所属が決まる1年生の参加者は多かった。来年度は、新学科に対応するために冊子作成における工夫がより必要となってくるので、各研究室とのより一層の協力が不可欠だと考える。

2018年度イルミネーション活動報告書

文責：執行委員会 山村 聡一郎

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会

<目的>

イルミネーションで構内を明るくするとともに、冬という季節を視覚的に感じてもらう。

<活動内容>

- ・ 福利施設周辺、空中廊下下広場、正面階段周辺の電飾による装飾
- ・ 福利施設内でのアンケート

アンケートは、来年度に向けての改善点が得られる内容にした。また、福利施設にアンケートボックスを設置した。

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス 福利施設周辺、空中廊下下広場、正面階段周辺

<活動日程>

2018年12月11日(火)～21日(金) 16:30～19:00

※土日は除く

※21日(金)は片付けのため18:30まで

<結果>

空中廊下下広場は、ドラムリールが届かなかったため装飾をしなかった。また、前回は草むら周辺にイルミネーションが集中し全体が明るくならなかったため、今回は全体に装飾を施した。

<考察>

全体に装飾を施したほうが、見栄えが良く感じた。加えて、アンケートの回答に去年よりも見栄えが良かったという内容もあったので、このデザインでよかったと考える。

2018年度冬季学内献血活動報告書

文責：執行委員会 本多 万明

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会

<目的>

現在、日本全国で献血者数が激減している。そこで学内での献血活動を行うことで学生に献血活動を身近に感じてもらい、また、献血についての知識を増やしてもらうことで若年層の献血者数を増加させるため。

<活動内容>

前日まで：ビラ配り、ポスター掲示、呼び込み

当日： アンケート、呼び込み

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス 福利施設1階ロビー、福利施設通路周辺、
研究棟及び総合研究棟

<活動日程>

2019年 1月 21日(月), 25日(金)	12:00~13:00	事前告知
22日(火), 28日(月)	9:00~17:30	学内献血実施

<対象>

九州工業大学飯塚キャンパス 学部生、大学院生、教職員、その他来訪者

<結果>

受付者数	114名
献血者数	105名
不採血	9名

2018 年度新入生歓迎会活動報告書

文責：執行委員会 花里 寛一

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会

<目的>

新入学部生が大学生活をより楽しく送れるように、新しい友人との出会いの場を提供する。

<活動内容>

長期休暇を除き週に一度、定例会を行った。定例会では全体で決定すべき事柄に対する議論、次回定例会までに行う活動の諸連絡を行った。

新入生歓迎会で行う企画ごとに企画担当を立てた。企画担当は各自で活動の場を設け、各企画の会議時の議長は企画担当が行った。広報に関しては広報部署と新歓長が行った。

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス

<活動日程>

・リハーサル

2019年1月26日(土) 8:00~12:00 (脱出ゲーム)

13:00~19:00 (探偵ゲーム)

1月27日(日) 8:00~12:00 (ゲーム大会)

13:00~19:00 (貿易ゲーム)

2月28日(木) 8:00~12:00 (ゲーム大会)

13:00~19:00 (貿易ゲーム)

3月1日(金) 8:00~12:00 (脱出ゲーム)

13:00~19:00 (探偵ゲーム)

3月4日(月) 8:00~12:00 (脱出ゲーム)

13:00~19:00 (探偵ゲーム)

3月8日(金) 8:00~12:00 (脱出ゲーム)

13:00~19:00 (探偵ゲーム)

3月11日(月) 8:00~12:00 (ゲーム大会)

13:00~19:00 (貿易ゲーム)

3月19日(火) 8:00~12:00 (ゲーム大会)

13:00~19:00 (貿易ゲーム)

3月27日(水) 8:00~12:00 (脱出ゲーム)

13:00~19:00 (探偵ゲーム)

3月28日(木) 8:00~12:00 (ゲーム大会)

13:00~19:00 (貿易ゲーム)

3月29日(金) 8:00~12:00 (脱出ゲーム)

13:00～19:00 (探偵ゲーム)

3 月 31 日(日) 9:00～12:00 (脱出ゲーム)

13:00～19:00 (探偵ゲーム)

・本番

2019 年 4 月 2 日(火) 9:00～12:00 (脱出ゲーム)

13:00～18:00 (探偵ゲーム)

4 月 6 日(土) 8:00～12:00 (ゲーム大会)

13:00～18:00 (貿易ゲーム)

<対象>

九州工業大学情報工学部キャンパス新入学部生

<参加人数>

	新入学部生参加人数	スタッフ人数	合計人数
脱出ゲーム	101 名	40 名	141 名
探偵ゲーム	95 名	42 名	137 名
ゲーム大会	39 名	37 名	76 名
貿易ゲーム	44 名	44 名	88 名
		合計延べ人数	442 名

<使用物品>

ラーニングアゴラのプロジェクター 1 台(借用元 学生係)
ラーニングアゴラのスクリーン 1 張(借用元 学生係)
マイク 3 本(借用元 学生係)

<予算の用途>

	金額(円)
脱出ゲーム	0
探偵ゲーム	1,944
ゲーム大会	0
貿易ゲーム	10,815
合計	12,759

<結果>

本番中において、新入学部生とスタッフの間でたくさんの会話や笑顔が確認された。さらに、企画後には新入学部生とスタッフで個人的に写真を撮ったり、連絡先を交換したりとさまざまな交流が見られた。また、新入学部生同士でも同様の振る舞いが見えたので、新しい友人との出会いの場を提供できた。

<考察>

本番中にたくさんの新入学部生との会話が発生したのはリハーサルでの練習の成果であると考え。また、写真を撮ったり連絡先を交換したりと関係が発展したのは、スタッフが企画の趣旨を理解し、積極的に新入学部生に話しかけたのはもちろん、企画長たちが熱心に新入学部生のために企画を練った成果であると考え。よって、来年度も継続していきたいと考える。

2018 年度新入学部生歓迎会脱出ゲーム報告書

文責：執行委員会 津渡 理香子

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会

<目的>

新入学部生に部屋からの脱出を目指して一丸となってもらうことにより、新入学部生や上回生とのつながりを作ることを目的とする。

<活動内容>

- ・最初に 1 つの講義室に集合してもらった
- ・新入学部生を 8～12 名ずつのグループに分けた
- ・各グループに女子生徒が 1 名だけにならないようにグループ分けを行った
- ・各グループにスタッフをサポート役として 2 名付け、緊急時の対応をしてもらった
- ・各グループにそれぞれ割り当てられた講義室に移動してもらった
- ・各グループ内で自己紹介をしてもらった
- ・講義室内にある暗号やクイズを協力しながら解くことで脱出をしてもらった
- ・制限時間は 70 分とした
- ・制限時間内に脱出することができたグループは最初の講義室に戻り、互いに交流を深めるため会話をしてもらった
- ・制限時間を超えてしまった場合は脱出失敗とし、最初の講義室に戻ってもらった
- ・脱出ゲーム終了後、最も早く脱出することができたグループを表彰した

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス 講義棟

1201,1202 講義室、1301,1302 講義室、2201 講義室

<活動日程>

2019 年 4 月 2 日(火) 8:00～12:00

<参加人数>

新入学部生 101 名

スタッフ 40 名

合計

141名

<結果>

新入学部生に実施したアンケートの結果は以下の通りである。

Q1.今回のゲームに参加して楽しかったですか？

とても楽しかった	81名(79.2%)
楽しかった	19名(18.8%)
ふつう	1名(1.1%)
楽しくなかった	0名(0%)
全く楽しくなかった	0名(0%)
未回答	0名(0%)
合計	101名

Q2.新入生同士で仲良くなれましたか？

同じチームの全員と仲良くなれた	26名(25.7%)
同じチームの半数以上と仲良くなれた	53名(52.5%)
同じチームの1人以上と仲良くなれた	21名(20.8%)
仲良くなれなかった	1名(1%)
未回答	0名(0%)
合計	101名

Q3.先輩と仲良くなれましたか？

2人以上と仲良くなれた	74名(73.3%)
1人と仲良くなれた	20名(19.8%)
仲良くなれなかった	7名(6.9%)
未回答	0名(0%)
合計	101名

Q4.全体を通しての感想を書いてください

「楽しかった」や「面白かった」と回答している新入学部生が多いなか、「問題が簡単すぎた」というような回答も見受けられた。

<考察>

ほぼ全員が楽しかったと回答をしているので成功したと言えるのだが、新入学部生同士で仲良くなれなかったという新入学部生が1名いるのも事実なので、次年度積極的に新入学部生同士の会話を増やすことが重要になっている。

想定人数よりもわずかに増えてしまい対処に手間取ってしまった。次年度は余裕を持つために、日程を変更したりスタッフの人数を増やしたりなど調整をしたいと思います。

また、リハーサル段階ではスタッフが仕事を理解できてなかったり、そもそも参加人数が少なかったりしたので、スタッフへの呼びかけなどをして、意識改革をすることが重要である。

2018 年度探偵ゲーム活動報告書

文責：執行委員会 出口 修己

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会

<目的>

新入学部生に、九州工業大学飯塚キャンパス内を進みながら学内の施設について説明することで、学校のことを知ってもらう。また、他の新入学部生や上回生との交流を深めてもらう。

<活動内容>

- ・新入学部生を 7,8 人のグループに分けた
- ・各グループに、スタッフを 2 人つけた
- ・各グループ、女子学生が 1 人にならないよう、グループ分けを考慮した
- ・集合地点とゲーム開始地点は 2201 講義室とした
- ・ゲーム開始前 10～15 分程度で自己紹介をする時間を設けた。
- ・荷物は新入学部生に貴重品だけ持ってゲームに参加してもらい、その他の荷物は 2201 講義室でスタッフが管理した
- ・数人のスタッフが学内を巡回するようにした
- ・制限時間は 120 分とした
- ・講義室に施設を設けそこでゲームを行った。
- ・ゲームをクリアすることが出来れば、キーワードとゲームポイントを与えた
- ・キーワードを集め、2201 講義室に戻ってキーワードから導き出した問題の答えを当てることができたらゴールとした
- ・全グループが 2201 講義室に集まった後、ゴールが早かった順に得点を与え、ミニゲームポイントを足して、総合得点の高い順に表彰した

・早く戻ってきたグループはスタッフと雑談して、待機してもらった

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス

<活動日程>

2019年4月2日(火) 13:00~17:30

<参加人数>

新入学部生	95人
スタッフ	42人
合計	137人

<予算の用途>

粘土	864円
ふせん	108円
名札用紙	324円
滑り止め	432円
クラッカー	216円
合計	1,944円

<結果>

以下にアンケートの結果を示す

Q1.今回のゲームに参加して楽しかったですか？

とても楽しかった	74人(77.9%)
楽しかった	20人(21.1%)
ふつう	1人(1.0%)
楽しくなかった	0人(0.0%)
全く楽しくなかった	0人(0.0%)
未回答	0人(0.0%)

Q2.新入生同士で仲良くなれましたか？

同じチームの人全員と仲良くなれた	41人(43.2%)
------------------	------------

同じチームの人の半数と仲良くなれた	34 人(35.8%)
同じチームの人 1 人以上と仲良くなれた	15 人(15.8%)
仲良くなれなかった	5 人(5.3%)
未回答	0 人(0.0%)

Q3.先輩と仲良くなれましたか？

2 人以上と仲良くなれた	79 人(83.2%)
1 人と仲良くなれた	11 人(11.6%)
仲良くなれなかった	5 人(5.3%)
未回答	0 人(0.0%)

Q4.探偵ゲームの中でどのゲームが最も楽しかったですか？

ホッケー	8 人(8.4%)
ウミガメのスープ	27 人(28.4%)
漢字で連想ゲーム	16 人(16.8%)
ストラックアウト	25 人(26.3%)
粘土ゲーム	3 人(3.2%)
フリスビー	2 人(2.1%)
一筆書きリレー	14 人(14.7%)
未回答	0 人(0.0%)

当日、想定していた程度の人数が来場し円滑に企画を進めることができた。アンケートの結果より、多くの新入学部生が楽しかったと答えてくれたので、他の新入学部生や上回生との交流を深めるという点では、企画は成功と言える。企画書の提出後、改修工事等の影響で講義棟以外の使用ができなくなったので、施設説明という点では企画はうまくいかなかった。

2018 年度グループ対抗ゲーム大会活動報告書

文責：執行委員会 萩原 柳

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会

<目的>

新入学部生がグループ対抗でゲームやクイズに協力して取り組み、新入学部生同士及び先輩と交流することで先輩とのつながりや友達を作り、大学生活への不安を少しでも減らしてもらうことを目的とする。

<活動内容>

- ・新入学部生をラーニングアゴラに集合させ、5～6人ずつに分けゲームを行った
- ・各グループに、新入学部生のサポートと進行のため上回生を2人つけた
- ・女子学部生が入る場合は上回生も含めグループに女子が2人以上になるようにした
- ・各班のスタッフとは別に16人ほどスタッフを配備した
- ・グループ分け後に自己紹介の時間をとった
- ・司会の進行とスライドを使って様々なクイズ、お絵かきリレーゲームをした
- ・各班には解答用紙以外にメモ用紙、鉛筆も配った
- ・各問題で正解したグループには得点を与えた
- ・お絵かきリレーは、伝言ゲームの要領で前の人のお絵かきを参考に描いてもらい、最後の絵を見て解答者がお題を当てたグループに得点を与えた
- ・全てのゲーム終了後、獲得得点上位3グループを発表した
- ・1位のグループメンバーには前の方で1人ずつ自己紹介してもらった
- ・企画終了後、アンケートに答えてもらった

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス ラーニングアゴラ

<活動日程>

2019年4月6日(土) 9:00～12:00

<参加人数>

新入学部生	39人
スタッフ	37人
合計	76人

<結果>

予想より参加人数が少なかったが、グループ数を減らし、計画道理進めることができた。大きな問題も無く企画を終了でき、午後の企画に支障を来すことはなかった。

新入学部生に実施したアンケートの結果は以下の通りである。

Q1.今回のゲームに参加して楽しかったですか？

とても楽しかった	33人(84.6%)
楽しかった	6人(15.4%)
ふつう	0人(0.0%)
楽しくなかった	0人(0.0%)
全く楽しくなかった	0人(0.0%)
未回答	0人(0.0%)

Q2.新入生同士で仲良くなれましたか？

同じチームの人全員と仲良くなれた	27人(69.2%)
同じチームの人の半数と仲良くなれた	10人(25.6%)
同じチームの人1人以上と仲良くなれた	2人(5.2%)
仲良くなれなかった	0人(0.0%)
未回答	0人(0.0%)

Q3.先輩と仲良くなれましたか？

2人以上と仲良くなれた	37人(94.9%)
1人と仲良くなれた	1人(2.5%)
仲良くなれなかった	1人(2.5%)
未回答	0人(0.0%)

<考察>

アンケートの結果から、参加者には楽しんでもらえ、他の新入学部生や先輩と仲良くなれたことがわかり、大学生活への不安は解消されたと思われる。

実施日が土曜日で日程も早めだったことや、入学式などもあり新入学部生は疲れていた時期だったことから、人数が集まらなかった。よって、より多くの新入学部生に参加してもらえるよう、新入学部生歓迎会は入学式前に実施するのが良いと思われる。

2018年度貿易ゲーム活動報告書

文責：執行委員会 毛利 武蔵

<活動団体>

九州工業大学情報工学部学生自治会執行委員会

<目的>

新入学部生に向けてコミュニケーションが重要となるゲームを実施することで、他の参加者との自発的なコミュニケーションを促して新入学部生を中心に交流を深めてもらい、充実した大学生活を送る手助けをすることを目的とした。

<活動内容>

- ・所持金を増やすことを目的とした貿易ゲームを行った
- ・新入学部生を4～5名のグループに分けた
- ・グループ分けを行う際、女子が1名にならないよう考慮してグループ分けを行った
- ・各グループに担当のスタッフを2名付けた
- ・上記とは別に、会場内を巡回しヘルプに入るスタッフを7名程度付けた
- ・ゲーム内に銀行を数箇所設置し、係のスタッフを2名ずつ付けた
- ・中間集計中に初期設定講習会の途中退出者がいたため、初期設定講習会の開催場所までの誘導を行った
- ・中間集計後に初期設定講習会のために途中参加者がいたため、最終集計の順位付けに含まない途中参加者のみの班を作成した
- ・ゲーム終了時に最終集計を行い、全グループの所持金を発表し、優勝したグループのメンバーをラーニングアゴラの前方に集めて1名ずつ自己紹介をしてもらった
- ・企画終了後、アンケートを回答してもらった

<活動場所>

九州工業大学飯塚キャンパス ラーニングアゴラ

<活動日程>

2019年4月6日(土) 13:00～17:00

<参加人数>

新入学部生	44名
スタッフ	44名
合計	88名

<予算の用途>

コピー用紙 A4(500枚組)	×5冊	1,095円
コピー用紙 A4(100枚組)	×2冊	216円
プレゼンテーション用ポインター	×1個	6,045円
セロテープ	×3個	327円
電卓	×2個	216円
携帯用はさみ	×5個	540円
封筒	×1個	108円
ハイマッキー 赤	×5本	810円
ハイマッキー 青	×4本	648円
ハイマッキー 黄	×5本	810円
合計		10,815円

<結果>

新入学部生に実施したアンケートの結果は以下の通りである。なお、アンケートの回答者は、重複回答や誤送信のため、合計人数に誤りがある。

Q1.楽しかったですか?	人数
とてもたのしかった	39名
たのしかった	5名
ふつう	0名
楽しくなかった	1名
全く楽しくなかった	0名

合計 45名

Q2.班内の新入生同士で仲良くなれましたか?	人数
全員と仲良くなれた	32名
半分と仲良くなれた	10名
1人と仲良くなれた	3名
誰とも仲良くなれなかった	0名

合計 45名

Q3.先輩と仲良くなれましたか？	人数
2人以上と仲良くなれた	38名
1人と仲良くなれた	7名
全く仲良くなれなかった	0名

合計 45名

合計 45名この企画の目標として、新入学部生が他の参加者と自発的な意見交換や交渉をすることに重きを置いてゲームを開催したところ、新入学部生がスタッフの予想以上に活発にゲームに参加してくれた。時間配分も昨年度の反省を踏まえて集計時間などに余裕を持たせたことで、時間的余裕を持って企画を終了することが出来た。今回ゲームの開催日が初期設定講習会と重なったことで途中退出者や途中参加者がいた。

<考察>

アンケートの結果や企画終了後の様子より、本企画の目的は達成されたと確認できた。

新入学部生の参加人数が予想より下回ったのは、1類の初期設定講習会との日程が重なったためと、開催日が入学式以降初めての休日だったためだと考えられる。そのため、来年度の企画では、昨年度と同様に早期に引っ越しをした人を考慮して3月中に行うか、今年度のように4月中に行うか来年度の企画長と検討して開催したい。

今回のゲーム内容は新入学部生のリーダーを中心にゲームを進行する為、ゲーム中にゲームに関する有益な情報の開示をし、また他の班と協力が必要な設定を行う等の工夫をした。またリハーサルを6回行い、ルールや企画目標、反省点の共有を行ったことで、ゲームのスムーズな進行と、常に新入学部生同士のコミュニケーションが行われる活発なゲームに出来た。来年度の歓迎会ではリハーサルと本番の反省点を生かし、より多くの参加者の交流があり、充実した大学生活の手助けとなるように準備に取り組みたい。

また、来年度は参加者にアンケートの回答の説明を行う際に、重複回答や誤送信が起こらないように注意を促したい。

2018 年度代議員会活動報告書

文責：代議員会 松岡 賢人

<目的>

学生自治会が学生の為になる活動をするように各委員会を監督する。また、学生の意見を多く取り入れ、それらを学生自治会の活動に反映させる。

<活動内容>

長期休暇及び期末試験期間を除いて、毎週定例代議員会を開催した。その中で、以下に示す内容を実施した。

・定例代議員会の実施

代議員会の活動目的を達成するべく、自治会規約に定められたとおり代議員会を開催した。また、全学部生に対し開催日時と場所について予め公示し、採決の結果についても同様に公示した。

2018 年度代議員会は総員 20 名であった。よって出席した代議員の人数が議長団を含めて 10 名未満であった場合には、代議員会の開催自体が不成立となる。この場合には、代議員会定例会において提出された書類の確認を行い、次回代議員会において速やかに採決を行えるようにした。

・学生自治会および各委員会の、2017 年度活動報告書及び 2018 年度活動方針案に対する審議

学生自治会及び各委員会は、学部大会にて 2017 年度の活動内容をまとめた活動報告書と、2018 年度の活動予定や活動目的などをまとめた活動方針案を提出せねばならない。

そのため、代議員会は定例代議員会にて、学部大会提出前にこれらの書類に対する審議を行った。修正すべき箇所の指摘や内容に対する質問を行い、採決にて承認された書類を学部大会へと提出するよう各委員会代表者に指示した。

・各企画における企画書および報告書に対する審議

学生自治会及び各委員会の活動を監督するため、各企画に対する審議を行った。

なお、採決において保留の採決が出されたすべての書類は、次回以降の代議員会まで採決が保留され、改めて審議・採決を行った。

採決にて承認された書類を学部大会へと提出するよう各文責者に指示した。

・学生からの意見を自治会活動に反映させる活動

主に代議員会における審議を通して、各委員会に助言という形で提案をした。

代議員ではない学生が代議員会に足を運び、意見や要望を提示するということにはなかった。

<活動日程>

長期休暇及び期末試験期間を除いて、毎週代議員会を開催した。木曜日が祝日または休校日であった場合、火曜日に振り替えて代議員会を開催した。必要がある場合には木曜日以外にも臨時の代議員会を開催した。また、すべての代議員会において定例会も併せて開催した。

<結果>

各書類の審議を通して、各委員会の活動に対する監督を行うことができた。また、文責者に対して代議員が学生の代表として意見を伝えることで、学生自治活動に学生の意見を反映することができた。

また、代議員会が毎年抱えている人員の欠如については、効果的な対策を打ち出すことができなかった。

<考察>

人員の欠如という問題の発生時期が代議員会の活動量の多い6月であることから、活動量が一時的に多くなることがこの問題の原因であると考えられる。しかしながら、代議員会の活動時間の大半を占める「各企画における企画書および報告書に対する審議」という活動内容が受け身の活動である以上、代議員会の活動量を独自に分散させることは難しいので、各委員会と協力してこの問題に取り組むことが必要であると考えられる。

2018 年度選挙管理委員会活動報告書

文責：選挙管理委員会 川原 大樹

<目的>

定例学部大会における投票、及び 2019 年度九州工業大学情報工学部学生自治会正副会長選挙を行うにあたり、その投票の管理・監査を行う。

<活動内容>

- ・本学部の定例学部大会において自治会の各団体の活動報告や方針案、自治会の予算、決算などに対する投票の管理・監査を行った
- ・本学部の学生自治会正副会長選挙における投票の管理・監査を行った

<活動日程>

2018 年 7 月 23 日(月)	定例学部大会における投票の監査、開票結果の公示
2019 年 1 月 18 日(金)～23 日(水)	学生自治会正副会長選挙立候補者受付
24 日(木)～30 日(水)	立候補者の選挙活動期間
31 日(木)	投票の監査
2 月 1 日(金)	開票結果の公示

<使用物品>

○定例学部大会

- ・投票箱 6 箱
- ・長机 3 台
- ・椅子 6 脚

○学生自治会正副会長選挙

- ・投票箱 1 箱
- ・長机 1 台
- ・椅子 2 脚

<結果>

定例学部大会ではブロックごとに投票箱を用意し、1 箱につき 1 人の選挙管理委員が側について投票の管理・監査を行った。また、学生自治会正副会長選挙では、投票の際に選挙管理委員を最低 1 人投票箱の側に配置し、別紙に学籍番号と氏名の記入を義務付けた。以上の

活動を行うことで不正が行われることなく円滑に投票が行われた。また、定例学部大会、学生自治会正副会長選挙ともに選挙管理委員のみで開票を行ったため、選挙の公平性は保たれた。

2018年度会計監査委員会活動報告書

文責：会計監査委員会 吉田 信将

<目的>

各委員会の2017年度の決算について、正しく決算報告がなされているか、また正しく予算が運用されていたかを監査する。

<活動内容>

各委員会の決算報告書を監査し、間違いがあった場合その箇所を指示して返却を行った。本委員が正しく報告されたと判断した場合、決算報告書に署名と捺印を行い、本委員会全員分揃い次第その決算報告書の監査を終了した。

<活動日程>

2018年 5月28日(月)、29日(火) 12:10～12:45

<結果>

監査を行った結果、正しく決算報告がなされ、正しく予算が運用されていたと判断した。

2018 年度卒業アルバム製作委員会活動報告書

文責:卒業アルバム製作委員会 木村 健人

<目的>

卒業生の意見を反映した卒業アルバムを製作し、大学生活の思い出を記録として残せるような卒業アルバムの製作を行うことを目的とした。

<活動内容>

卒業アルバム製作委員会では以下のことに重点を置いて卒業アルバムの製作を行った。

- ・卒業アルバムの充実

多くの卒業生に興味を持っていただけるような卒業アルバムの製作を意識した。

- ・卒業アルバムの製作状況の報告

業者との仲介役としてメール等で製作状況の質問に答え、大学や卒業生への報告を行った。

<活動日程>

2018 年 07 月 業者との打ち合わせ

08 月 2017 年度卒業アルバムのレイアウト構成

11 月 工大祭の撮影

2019 年 01 月 研究室内で撮影された写真データの回収

2018 年度卒業アルバム購入希望の用紙の配布(回収は各自連絡にて)

各研究室の集合写真の撮影

03 月 卒業式・謝恩会の撮影

2017 年度卒業アルバム納品

04 月 入学式の撮影

<予算の用途>

決算資料に示す。

<業者へ委託した仕事>

- ・各研究室の集合写真の撮影

各研究室の集合写真の撮影は卒業アルバム製作委員会の委員の技術では卒業アルバムの品質を落としてしまう恐れがあるため。

- ・ 各行事の撮影

委員のみでは撮影しきれない部分があるため、委員と共同での撮影を依頼している。

- ・ 卒業アルバムの製本

卒業アルバム製作委員会では製本をする技術がないため。

- ・ 卒業アルバムの配送

配送に関しては製本を行う業者が配送を行ったほうが良いと考えたため。

<結果>

工大祭や卒業式、謝恩会、入学式での撮影で学生同士ならではの自然体の写真が撮れ、卒業アルバムを充実させることができた。しかし、引継ぎが不十分であったためアンケートが行えなかった。加えて、アルバムの製作状況の進捗に関して業者とのやり取りがうまくいかず、大学や卒業生への定期的な報告はできず、納品も遅れた。

議案 1

2018 年度情報工学部学生自治会決算

	収入	支出	収支
2018 年度情報工学部学生自治会決算	¥459,000-	¥216,718-	¥242,282-
<hr/>			
[内訳]			
卒業アルバム製作委員会費	¥145,000-	¥95,650-	¥49,350-
企画運営費	¥60,000-	¥23,267-	¥36,733-
広報事務費	¥230,000-	¥97,801-	¥132,199-
サークル棟横倉庫維持費	¥4,000-	¥0-	¥4,000-
学生自治会予備費	¥20,000-	¥0-	¥20,000-

情報工学部学生自治会決算報告内訳

	収入	支出	収支
<卒業アルバム製作委員会費>	¥145,000-	¥95,650-	¥49,350-
<hr/>			
[内訳]			
カメラ購入費	¥90,000-	¥78,500-	¥11,500-
カメラレンズ購入費	¥28,000-	¥9,707-	¥18,293-
SD カード購入費	¥7,000-	¥4,760-	¥2,240-
交通費	¥10,000-	¥0-	¥10,000-
予備費	¥10,000-	¥2,683-	¥7,317-
<企画運営費>	¥60,000-	¥23,267-	¥36,733-
<hr/>			
[内訳]			
オープンキャンパスオブジェクト製作費	¥20,000-	¥3,284-	¥16,716-
新入生歓迎会費	¥30,000-	¥12,939-	¥17,061-
消耗品費	¥10,000-	¥7,044-	¥2,956-

<広報事務費>	¥230,000-	¥97,801-	¥132,199-
<hr/>			
[内訳]			
事務用品費・消耗品費	¥80,000-	¥3,367-	¥76,633-
コピー機維持費・プリンタ維持費	¥50,000-	¥21,765-	¥28,235-
印刷機維持費	¥100,000-	¥72,669-	¥27,331-
<サークル棟横倉庫維持費>	¥4,000-	¥0-	¥4,000-
<hr/>			
[内訳]			
消耗品費	¥4,000-	¥0-	¥4,000-
<学生自治会予備費>	¥20,000-	¥0-	¥20,000-
<hr/>			
[内訳]			
予備費	¥20,000-	¥0-	¥20,000-
<hr/>			

(参考資料)2018 年度情報工学部学生自治会予算案

情報工学部学生自治会予算案	¥459,000-
[内訳]	
卒業アルバム製作委員会費	¥145,000-
企画運営費	¥60,000-
広報事務費	¥230,000-
サークル棟横倉庫維持費	¥4,000-
学生自治会予備費	¥20,000-

情報工学部学生自治会予算案内訳

<卒業アルバム製作委員会費>	¥145,000-
----------------	-----------

[内訳]	
カメラ購入費	¥90,000-
カメラレンズ購入費	¥28,000-
SD カード購入費	¥7,000-
交通費	¥10,000-
予備費	¥10,000-

<企画運営費>	¥60,000-
---------	----------

[内訳]	
新入生歓迎イベント費	¥30,000-
オープンキャンパスオブジェクト製作費	¥20,000-
消耗品代	¥10,000-

<広報事務費>	¥230,000-
---------	-----------

[内訳]	
事務用品・消耗品費	¥80,000-
印刷機器維持費	¥100,000-
コピー機・プリンタ維持費	¥50,000-

<サークル棟横倉庫維持費> ¥4,000-

[内訳]

 消耗品 ¥4,000-

<学生自治会予備費> ¥20,000-

2018 年度情報工学部学生自治会予算計上理由

〈卒業アルバム製作委員会費〉

・カメラ(¥90,000)

昨年1台カメラを導入しましたが、それでも撮影者に対して委員会の保有しているカメラの台数が不足しているため、新しいカメラの購入を検討しています。

・カメラレンズ(¥28,000)

様々な場面の撮影するためには現在ある単焦点のレンズでは対応できないため、新しいカメラレンズの購入を検討しています。

・SDカード(¥7,000)

新しいカメラを購入するのに伴って必要なSDカードの枚数が不足するため、SDカードの購入を検討しています。

・交通費(¥10,000)

卒業式・各学科謝恩会等遠方への撮影に行く際、公共交通機関が使えなかったときのタクシーでの移動を考慮し、交通費は以上になりました。

・予備費(¥10,000)

予備費は、カメラが故障した時の修理代や、交通費が足りなくなった場合の補填、さらにカメラレンズなどの修理代が予算を超える可能性がある際に、新しいものを購入することができるような金額に設定しています。

〈企画運営費〉

・新入生歓迎イベント費(¥30,000)

新入生歓迎イベントで行う企画において使用する物品の購入費として計上します。

・オープンキャンパスオブジェクト製作費(¥20,000)

オープンキャンパスで展示するオブジェクトを製作するために必要な物品の購入費として計上します。

・消耗品(¥10,000)

その他献血のイベントなどで必要な物品の購入費として計上します。

〈広報事務費〉

・事務用品・消耗品費(¥80,000)

文房具や模造紙、コピー用紙など、学生会室で使う事務用品や消耗品の購入費として計上します。

・印刷機維持費(¥100,000)

学生自治会が管理している印刷機器のインクの購入費として計上します。

・コピー機・プリンタ維持費(¥50,000)

学生自治会が所有しているプリンタとコピー機のインクの購入費として計上します。

〈サークル棟横倉庫維持費〉(¥4,000)

サークル棟横倉庫の管理の際に、必要なものがあつた場合を考え計上します。

〈学生自治会予備費〉(¥20,000)

新企画を行う際など、本来必要でなかつた物品を購入する場合を考え、予備の費用として計上します。

議案 2

2019 年度情報工学部学生自治会活動方針案

文責：執行委員会 中野 貴仁

<目的>

学生自治会の活動を通して、本学学生がより充実した大学生活を送れるようにする。

<活動方針>

各委員会のための委員会単位の活動だけではなく、学生自治会として学生還元につながるように各委員会で協力し、大学生活がより良いものとなるよう活動する。

また、各委員会が目的である学生還元につながるよう意識しながら活動を行う。例年行っている活動は反省点を踏まえた上でより良い活動にすると共に、新しい活動を模索し実行する。

<活動予定>

○今年度の活動予定

- ・例年行っている活動
- ・各委員会で必要な新しい活動の模索、実行

○昨年度の活動例

- ・執行委員会
 - 学内外での献血活動、オープンキャンパス、オフィスキャンペーン、二瀬地区での地域活動、新入生歓迎会 など
- ・代議員会
 - 予算決算の承認、企画審議など
- ・卒業アルバム製作委員会
 - 卒業アルバムの製作、卒業生の連絡先収集など
- ・選挙管理委員会
 - 学部大会における投票の管理、学生自治会正副会長選挙の管理など
- ・会計監査委員会
 - 各委員会の決算報告書の監査など

2019年度執行委員会活動方針案

文責：執行委員会 中野 貴仁

<目的>

本委員会の活動を通して、本学学生がより充実した大学生活を送れるよう貢献する。また、学外のボランティア活動に積極的に参加することで、地域の方々に九州工業大学情報工学部を知ってもらい、地域に根付いた大学作りを目指す。

<活動方針>

目的を踏まえた上で、以下のように方針をまとめる。

- ・前年度までの活動で出た反省点を踏まえて活動する
- ・本学学生に必要であろうことを考え、立案・審議を行い、可能であれば実施する
- ・本委員会の活動を本学学生、地域の方々に知らせるために学内外の活動に積極的に参加する

<活動予定>

○学内での活動予定

- ・入学式誘導
- ・クラスオリエンテーション
- ・駐輪場整理
- ・サークル棟横倉庫の管理
- ・学内献血
- ・オープンキャンパス
- ・オフィスキャンペーン
- ・クリスマスイルミネーション
- ・新入生歓迎イベント

○学外での活動予定

- ・飯塚山笠
- ・学外での献血キャンペーン
- ・二瀬中学校関係のイベント
- ・二瀬交流センター関係のイベント
- ・飯塚市内の小・中学生への学習支援

2019 年度代議員会活動方針案

文責：代議員会 柴田 一哉

<目的>

学生自治会が学生の為になる活動をするように各委員会を監督する。また、学生の意見を多く取り入れ、それらを学生自治会および各委員会の活動に反映させる。

<活動方針>

学生自治会および各委員会における活動を監督し、より学生還元につながるように促す。

<活動予定>

長期休暇および期末試験期間を除いて、毎週定例代議員会を開催する。その中で、以下に示す内容を達成していく。

- ・ 定例代議員会の実施

代議員会の活動目的を達成するべく、自治会規約に定められたとおり代議員会を開催する。

- ・ 学生自治会および各委員会の、2018 年度活動報告書および 2019 年度活動方針案に対する審議

学生自治会および各委員会は、学部大会にて 2018 年度の活動内容をまとめた活動報告書と、今年度の活動予定や活動目的などをまとめた活動方針案を提出せねばならない。そのため、代議員会は定例代議員会にて、学部大会提出前にこれらの書類に対する審議を行う。

- ・ 各企画における企画書および報告書に対する審議

学生自治会および各委員会の活動を監督するため、各企画に対する審議を行う。

- ・ 学生からの意見を学生自治会および各委員会の活動に反映させる活動

主に代議員会における審議を通して、学生自治会および各委員会に助言という形で提案する。

2019 年度選挙管理委員会活動方針案

文責：選挙管理委員会 草場 優

<目的>

定例学部大会での投票及び 2020 年度九州工業大学情報工学部学生自治会正副会長選挙を行うに際して、不正や不備が見つからぬよう監査し、学生の意見を学生自治会に反映させる。

<活動方針>

本委員会が投票に関して管理・監査することで不正等を未然に防ぐ。

<活動予定>

7月中旬 定例学部大会における投票の監査、開票及び公示
1月下旬 学生自治会正副会長選挙の監査、開票及び公示

2019 年度会計監査委員会活動方針案

文責：会計監査委員会 中島 寛人

<目的>

各委員会の 2018 年度の決算について、正しく決算報告がなされているか、また正しく予算が運用されていたかを監査する。

<活動方針>

定例学部大会前に提出される各委員会の決算報告書を監査する。

<活動日程>

2019 年 6 月 各委員会が作成する決算報告書の監査

2019年度卒業アルバム製作委員会活動方針案

文責：卒業アルバム製作委員会 川上 諒大

<目的>

卒業生の意見を反映した卒業アルバムを製作し、大学生活の思い出を記録として残せるよう卒業アルバムの製作を行うこと。

<活動方針>

卒業アルバム製作委員会では以下のことを重点に置いて卒業アルバムの製作を行う。

・卒業アルバムの充実

アンケートを取り、その結果から卒業生の意見を反映させ、多くの卒業生に興味を持っていただけるような卒業アルバムを製作する。また、学生自身が撮影した写真を盛り込むことにより、より魅力的な卒業アルバムを製作する。

・卒業アルバムの製作状況の報告

各研究室訪問やメールによりアンケートの結果や卒業アルバムの進行状況の連絡を行う。

<活動予定>

2019年 7月 2018年度卒業アルバムのレイアウト構成

8月 業者との打ち合わせ

9月 2018年度卒業アルバム納品

10月 各研究室の集合写真の撮影

11月 工大祭における写真の撮影

2020年 1月 各研究室内で撮影された写真データの回収

2019年度卒業アルバム購入希望の用紙、アンケートの配布
(回収は各自連絡にて)

3月 卒業式・謝恩会の撮影

4月 入学式の撮影

その他、学内外で学生の参加する大きなイベントがあれば撮影に行く。

<委託する予定の仕事内容>

・各研究室の集合写真の撮影

各研究室の集合写真の撮影は卒業アルバム製作委員会の委員の技術では卒業アルバムの品質を落としてしまう恐れがあるため。

- 各行事の撮影

委員のみでは撮影しきれない部分があるため、委員と共同での撮影を依頼している。

- 卒業アルバムの製本

卒業アルバム製作委員会では製本の技術を持っていないため。

- 卒業アルバムの配送

配送に関しては製本を行う業者が配送を行ったほうが良いため。

2019 年度情報工学部学生自治会予算案

情報工学部学生自治会予算案 ¥429,000-

[内訳]

卒業アルバム製作委員会費	¥145,000-
企画運営費	¥60,000-
広報事務費	¥200,000-
サークル棟横倉庫維持費	¥4,000-
学生自治会予備費	¥20,000-

情報工学部学生自治会予算案内訳

<卒業アルバム製作委員会費> ¥145,000-

[内訳]

カメラ購入費	¥90,000-
カメラレンズ購入費	¥30,000-
備品	¥5,000-
交通費	¥10,000-
予備費	¥10,000-

<企画運営費> ¥60,000-

[内訳]

新入生歓迎イベント費	¥30,000-
オープンキャンパス費	¥15,000-
消耗品代	¥15,000-

<広報事務費> ¥200,000-

[内訳]

事務用品・消耗品費	¥60,000-
印刷機器維持費	¥100,000-
コピー機・プリンタ維持費	¥40,000-

<サークル棟横倉庫維持費> ¥4,000-

[内訳]

 消耗品 ¥4,000-

<学生自治会予備費> ¥20,000-

2019 年度情報工学部学生自治会予算計上理由

〈卒業アルバム製作委員会費〉

- ・カメラ購入費(¥90,000)

今年度も新入生が多く入り、現在委員会で保有しているカメラの台数では足りないため、新しくカメラを購入することを検討しています。

- ・カメラレンズ購入費(¥30,000)

故障したレンズがあるため、その買い替えをすることを検討しています。

- ・備品(¥5,000)

委員が増えたため、腕章の数が足りなくなっているため、その購入を検討しています。

- ・交通費(¥10,000)

卒業式・各学科謝恩会等遠方への撮影へ行く際、個人の車で移動する際にガソリン代として領収書を切れない場合があるため、公共交通機関及びタクシーでの移動を考慮し、交通費は以上になりました。

- ・予備費(¥10,000)

カメラやレンズ、周辺機器が故障した時の修理費や、交通費が足りなくなった場合の補填、SD カード等カメラの周辺機器購入費としてこの金額に設定しています。

〈企画運営費〉

- ・新入生歓迎イベント費(¥30,000)

新入生歓迎イベントで行う企画において使用する物品の購入費として計上します。

- ・オープンキャンパス費(¥15,000)

オープンキャンパスで行う企画において使用する物品の購入費として計上します。

- ・消耗品(¥15,000)

その他のイベントや企画などで必要な物品の購入費として計上します。

〈広報事務費〉

- ・事務用品・消耗品費(¥60,000)

文房具や模造紙、コピー用紙など、学生会室で使う事務用品や消耗品の購入費として計上します。

- ・印刷機維持費(¥100,000)

学生自治会が管理している印刷機器の故障時の修理費、およびインクの購入費として計上します。

・コピー機・プリンタ維持費(¥40,000)

学生自治会が所有しているプリンタとコピー機の故障時の修理費、およびインクの購入費として計上します。

〈サークル棟横倉庫維持費〉(¥4,000)

サークル棟横倉庫の管理の際に、必要なものがあつた場合に計上します。

〈学生自治会予備費〉(¥20,000)

新企画を行う際など、本来必要でなかつた物品を購入する場合を考え、予備の費用として計上します。